

医薬保健学域 > 保健学類 > 理学・作業

授業科目名[英文名] / Course Title	人体構造学実習[Practice of Anatomy]		
担当教員名[ローマ字表記] / Instructor	細 正博 [HOSO MASAHIRO]、松崎 太郎 [MATSUZAKI TARO]、間所 祥子 [MADOKORO SACHIKO]、千葉 馨 [CHIBA KAORI]、尾崎 紀之 [OZAKI NORIYUKI]		
時間割番号 / Course Number	23402	科目区分 / Category	必修
講義形態 / Lecture Form	実習	対象学生 / Assigned Year	2年
適正人数 / Class Size		開講学期 / Semester	通年(前期→後期)
曜日・時限 / Day・Period	金曜・1限後半～2限 金曜・4限後半～5限	単位数 / Credit	2
キーワード / Keywords	人体解剖学実習		

授業の主題 / Topic

1年前期の人体構造学、後期の人体構造学演習で培った基礎知識をもとに、実物の人骨、脳脊髄およびヒト切断四肢および正常解剖体を、実際に手に触れ、観察することにより、人体の構造の実際的な理解を深める。

授業の目標 / Objective

人体材料を用いた実習により、運動器の構造の実際的な理解を深める。

学生の学習目標 / Prerequisites

既にその生を終えた先人が、その生前のご厚意により自らの身体を教材として提供してくださっている。学生はその無私のご厚意に接し、実物の人体材料から実際的な知識を得るとともに、医療に携わるものの心構えも新たにしてもらいたい。

授業の概要 / Outline

- 1 オリエンテーション
- 2- 9 解剖実習1-8
- 10-14 標本実習1-4
- 15 解剖実習レポート
- 16 頭蓋骨(頭蓋冠・顔面頭蓋)
- 17 頭蓋骨(頭蓋底)
- 18 脊柱
- 19 胸郭・肩帯
- 20 上肢骨
- 21 腰帯
- 22 下肢骨
- 23 骨格系レポート
- 24 大脳表面(上面, 下面)
- 25 大脳表面(外側面・内側面)
- 26 大脳断面
- 27 脳幹・小脳
- 28 脊髄
- 29 神経学レポート

評価の方法 / Grading Method

※成績評価: 次項の項目及び割合で総合評価し、次のとおり判定する。
「S(達成度90%~100%)」、「A(同80%~90%未満)」、
「B(同70%~80%未満)」、「C(同60%~70%未満)」を合格とし、
「不可(同60%未満)」を不合格とする。(標準評価方法)

出席 出席を最重視する。特別の理由なく5回以上欠席すれば不可とする
レポート 出席をクリアしたものは、次にレポートの内容、提出期限により合否を判定する

評価の割合 / Grading Criteria

評価の方法に記載

テキスト・教材・参考書等 / Teaching Materials

● [図書館トップページへリンク](#)

推薦参考書「カラー人体解剖学」西村書店(人体構造学、同演習と共通)

その他履修上の注意事項や学習上の助言 / Others

実習に先立ち、各自、白衣、内履き、スケッチブック、筆記具を用意すること。

スケッチブックは大判を推奨。

実習に当たっては、必ず白衣を着用し、内履きに履き替えること。

正常解剖体の観察に当たっては、厳粛かつ静粛を心がけ、物言わぬ先人への敬意を忘れないこと。

また、実習を通して知り得た情報を口外しないこと。

オフィスアワー等(学生からの質問への対応方法等) / Consultation Time

質問は随時受け付ける。

履修条件 / Prerequisites

必修

適正人数と受講者の調整方法 / Method for adjusting class size

関連科目 / Related Courses

カリキュラムの中の位置づけ(関連科目、履修条件等) / Relations with the Other Courses in the Curriculum

特記事項 / Special note

[× 閉じる](#)